



地域交流活動かわら版



オリンピック・パラリンピック 2020 大会に向けて

～「地域と大学」羽村市の取り組みについて学ぶ～

6月28日(金)「地域と大学」の第12回目の授業を実施しました。今回は杏林大学の連携市である羽村市より2名の職員をお招きし、市の概要と、2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについてお話していただきました。

羽村市において市民の機運醸成事業として開催される「1年前イベント」では、パラリンピックの公式種目である「ボッチャ」を体験できるように、専用のブースが設置されることになっています。この取り組みは昨年度も「2年前イベント」として実施され、本学保健学部の一場友実先生の協力のもと、学生ボランティアも参加して、大学と羽村市の双方にとって重要な活動の1つとして位置づけられています。

このような取り組みの1つ1つを「レガシー」として大会終了後も残していくために、学生たちは事前学習やグループワークを通じて「レガシーの活用案」を作成します。それぞれが作成した案は、7月12日(金)の授業で発表する予定です。在学中にオリンピック・パラリンピックの開催を体験できる学生たちにとって、今日学んだことを十分に活かしたプレゼンをしてくれるよう期待しています。



羽村市職員 小泉様



羽村市職員 須田様

ポートランド州立大学フィールドワークを共同実施



詳細は大学HPからも
チェックしてみてください!



MOU(国際交流協定)を締結する杏林大学とポートランド州立大学では、「Learn From Each Other(共に学び合う)」を理念に掲げ、2017年より東日本大震災の教訓を学ぶためのプログラムとして訪日フィールドワークを実施してきました。

今年度は、総合政策学部三浦准教授が企画に携わり、6月24日～26日・28日の行程で、ポートランド州立大学の西芝行政学部長・教授、伊藤経済学部長・教授の引率のもと、11名の学生等が来日。「防災に強いまちづくり」をテーマに、宮城県石巻市や、首都圏直下型地震に備える企業・住宅を訪問しました。このプログラムには、総合政策学部の学生達がポートランド州立大学の学生をサポートする役割で同行。総合政策学部が提供する専門科目やグローバルに活躍するための知識を英語で学ぶ学生達は、見学や説明の際に傍らに寄り添い、話し相手になりながら実りあるプログラムになるよう努めていました。参加した学生達からは「外国の方々と長時間行動を共にし、会話とコミュニケーションの勉強になった」「防災について現地見学や説明を受けることがこれまでなかったので、非常によい体験となった」などの感想が寄せられています。

公開講演会「地域活性化の理論と実践」を開催しました

「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」の授業の一環として、6/26(水)にNPO 法人街のお助け隊コンシェルジュ 青木弘道 理事長と、NPO 法人小さな村総合研究所の小村幸司 代表理事にご講演いただきました。青木理事長からは、品川区中延商店街に根差し、高齢世帯の困りごとを助ける活動について、小村代表理事からは、東京の水源地である山梨県丹波山村を中心とした様々な地域おこしについて、熱のこもった内容の濃いお話を伺うことができました。



受講者アンケートより

- ・(団体や企画を)立ち上げることが大変であるが、それよりも継続することのむずかしさを感じた。自分が主役だという人を増やすことが大事かなと思った。(60代・男性)
- ・“地域の資源は人である”、いい言葉ですね。大切にしたいですね。(60代・男性)



多胎育児準備クラスを実施しました

保健学部 看護学科 看護養護教育学専攻 場家美沙紀 先生より

2019年6月8日(土)、22日(土)の2日間に渡り、多胎育児準備クラスを開催しました。このクラスは、ふたご・みつごを妊娠中の妊婦さんとご家族を対象とした講座で、杏林大学医学部付属病院の医師・助産師のご協力のもと、年3回開催しております。1日目は、助産師による講義「多胎妊娠から育児期までの生活」と先輩ママの体験談、2日目は、医師による講義「多胎妊娠・出産の基礎知識」と先輩パパ・ママとの情報交換を行いました。情報交換では、「ふたご便利グッズは?」「利用できるサポートは?」「パパ・ママの休息の取り方は?」など、先輩パパ・ママから具体的なアドバイスを得ることができ、いつまでも話が尽きない様子でした。

次回は10月開催予定です



注目!

アトレヴィ三鷹×杏林大学WEB版『みたから』始動



今後の動きに乞うご期待!

—昨年より、アトレヴィ三鷹と杏林大学の共同事業の一環として制作してきたメディア『みたから』の作成が今年度も始動しました。その第一歩として、6/25(火)に総合政策学部総合政策学科 進邦ゼミの学生が、三鷹市観光協会と三鷹ネットワーク大学を取材し、地域で幅広い取り組みをしている場所への理解を深めました。これまでフリーペーパーとして配布されていた『みたから』は、今年度よりWEBサイトへ移行する予定で、ネット媒体ならではの仕掛けも盛り込んでいくとのことです。7月下旬のリリースを予定しています。